

大西暢夫写真展

いのちの姿、あなたの形

世界にたった一つの、あなたの心が座る椅子



●トークイベント1

「いのちの姿、あなたの形」 スペシャルトーク

車椅子製作に込められる、使う人への真摯な思い。それぞれの立場から、人に向き合い続ける中で考えていることなどをお話いただきます。展示会の世界をより深く知ることができるトークイベントです。

登壇者

大西暢夫 カメラマン・映像作家
森田 寅 株式会社夢工房 代表取締役
沼田裕司 みちのく療育園 作業療法士

会場 るんびにい美術館

〒025-0065 岩手県花巻市星が丘 1-21-29

日時 2019 11月30日(土) 14:00~16:00

●トークイベント2

過小評価は困ります！当事者が伝えたい、内なる思い

発語や動作が出来ないために「わかっていないだろう、考えていないだろう」と周囲に思われてしまいがちな重度障害のある方たち。世にはびこる思い込みを打ち破るトーク！

登壇者

伊藤史人 島根大学総合理工学研究所 助教
千葉淑子 ぼけっとの会代表
千葉一歩 中里放課後子ども教室指導員

会場 花巻交流会館・交流スペース

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割 183-1

日時 2019 12月7日(土) 14:00~16:00

*トークイベントの詳細情報は裏面をご覧ください

会期 2019 10月11日(金)―2020 1月27日(月)

入場無料

会場 るんびにい美術館

〔開館時間〕 10:00~16:30 (ただし、12/28は14:00閉館)

〔休館日〕 毎週水曜日、第4火曜日、12/29-1/4冬季休館

〒025-0065 岩手県花巻市星が丘 1-21-29

主催/社会福祉法人光林会るんびにい美術館 後援/花巻市助成/いきいき岩手支援財団 協力/社会福祉法人新生会医療型障害児入所施設みちのく療育園、株式会社夢工房



るんびにい美術館
borderless art collection



●トークイベント1 「いのちの姿、あなたの形」 スペシャルトーク

会場 るんびにい美術館

日時 2019 11月30日(土) 14:00~16:00

登壇者



大西 暢夫
カメラマン・映像作家

1968年岐阜県揖斐郡池田町育ち。東京総合写真専門学校卒業後、写真家/映画監督の本橋成一氏に師事。1998年にフリーカメラマンとして独立。ダムに沈む村、職人、精神科病棟、障害者など、被写体は常に人間。最近執筆も多い。雑誌の連載や本を出版している。25年間の東京での暮らしから、2010年11月より故郷の岐阜県揖斐郡池田町に拠点を移す。



森田 寅
株式会社夢工房
代表取締役

1955年生まれ。福島県磐梯町在住。株式会社夢工房代表取締役。1985年津若松市に夢工房設立。身体障がいを持つ人のための補装具を中心に様々な道具を製作。主に福島県、栃木県、新潟県に製品を供給。「職業としては無く生き方として」



沼田 裕司
みちのく療育園
作業療法士

1963年盛岡市生まれ。岩手リハビリテーション学院卒業後、栃木県立身体障害医療福祉センターへ。この時夢工房森田氏に座位保持装置の作り方と考え方の指導を受ける。その後、直接指導を受けられるため、福島の会津若松で年間修行を受ける。その後岩手県矢巾町みちのく療育園に就職し、岩手県の障害者リハビリを行う。

●トークイベント2 過小評価は困ります！ 当事者が伝えたい、内なる思い

会場 花巻交流会館・交流スペース

日時 2019 12月7日(土) 14:00~16:00

登壇者



伊藤 史人
島根大学総合理工学研究所
助教

岩手大学中退・岩手県立大学修了。重度障害者のテクノロジーを活用したコミュニケーション支援技術を研究。2017年、NHK日本賞にてクリエイティブフロンティア部門最優秀賞受賞。



千葉 淑子
ばけつとの会代表

1961年岩手県一関市生まれ。岩手大学卒。遠野小学校、上郷小学校で先生をする。向いてなかったで、迷惑をかけないように、一歩が生まれたのを機に辞めて専業主婦一筋。重度心身障害の当事者と家族の会「ばけつとの会」の代表をしている。



千葉 一步
中里放課後子ども教室
指導員

1990年岩手県遠野市生まれ。そのあと転居し一関在住。CFC症候群、てんかんを持つ重症心身障害児として生まれる。一関清明支援学校高等部卒。19歳で脳出血を発症し、重い後遺症で医療的ケアが必要になる。週に2回、わあははクラブと居宅介護支援センターやすらぎに通う。木曜日には2016年から中里放課後子ども教室の指導員をしている。

ほか中継で複数の障害当事者の方が登壇予定(調整中)

FAX / 0198-29-5058

ハガキ / 〒025-0065 岩手県花巻市星が丘1-21-29

メール / museum-lumbi@kourinkai-swc.or.jp

でこぼこで変わった形の、不思議な車椅子。一体どんな人が、どのようにして座るのでしょうか—?

発語したり、自力で立つことや体を動かしたりすることが難しい、重度の知的障害と肢体不自由のある人が使用する車椅子。それは、その人が求めるニーズに応じてひとりひとりの為に全てオーダーメイドで作りに出されます。

座るとき、寝るとき、食事をとるとき—どのような方法で身体を支えたら、安定した姿勢を保つことができるのか。どのような姿勢なら、その人にとって苦痛がなく心地が良いのか。姿勢を保つということは、呼吸器や内臓の働きを保つといった生命の根本的な働きを維持することにも繋がっていきます。

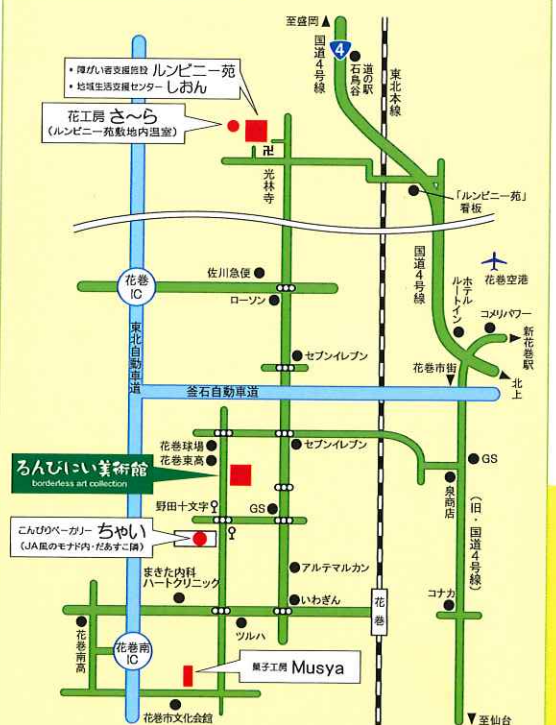
寝たままでも暮らしてきた人が座る姿勢をとれたとき、どんな変化が生まれるのでしょうか。頭の位置が変わることで、今まで視界に入らなかったものが目に入り、新たな音が、振動が感じられるようになるかもしれません。「座る」ことは、新しい世界に出会うことなのです。

車椅子を形作る職人や作業療法士らは、わずかに数ミリの差で生じる違いを探り、確かめながら、ひたむきにその人の内面と身体に向き合い続けます。

今まで誰も見たことが無い、見本も正解も無いものを一から作り出していき果てしなく。そうして生み出された形は、その人の在りようや人生が私たちの目に見える形となって表れ出てくるようです。

本展では、カメラマン・大西暢夫さんがみちのく療育園(岩手県矢巾町)で取材し続けた重度重複障害の当事者の方たちと、車椅子製作に携わる森田寅さん(株式会社夢工房)、沼田裕司さん(みちのく療育園作業療法士)の姿をご紹介します。それぞれの関わり合いから、人と人がこの一つの世界で生きていることの意味が浮かび上がります。

社会福祉法人光林会の施設



るんびにい美術館
borderless art collection

- ギャラリー
- るんカフェ Heart-Pit
- ペーカーリー ちやい 星が丘工房
- アトリエ

【入館無料】 開館 10:00~16:30 (ただし、12/28は14:00閉館) 休館日 水曜日、第4火曜日、12/29-1/4
〒025-0065 岩手県花巻市星が丘1-21-29 電話 0198-22-5057 FAX 0198-29-5058
ホームページ <http://kourinkai-swc.or.jp/museum-lumbi/>

るんカフェ Heart-Pit (るんびにい美術館内) 11:00オープン~16:00ラストオーダー

【交通】●東北自動車道花巻・花巻南各インターから車で約10分 ●JR花巻駅からタクシーで約5分 ●花巻駅から循環バス「ふくろう号」野田十文字バス停下車徒歩約3分 ●東北新幹線新花巻駅からタクシーで約15分